



文京区議会議員 松下純子

区政報告

平成25年 15号



都心では、歩道上のスペース確保が容易ではありませんが、安全ですこし休める場所もある歩道を、工夫してつくりたい！

安心安全な歩道づくりを、松下純子は提案し続けています

現在文京区の歩道は、植樹や放置自転車、置き看板などでかなりのスペースが占められています。歩道のスペースを確保するためには、何点か改善すべき事案はありますが、まず、現在の低木の植樹から高木中心に移行すること、区内緑地の配置変更を提案しています。低木は、時に車の運転手の視界をさえぎり危険が高まりやすく、二酸化炭素の吸収についても、高木と比べて貢献度が低いとも言われています。安全な歩道スペースの確保のために、『植樹に対する考え方』を根本的に見直すべきだと思います。



植樹と自転車で、狭くなった歩道



座れるガードレール

街の中に、もう少し休める場所があると外出しやすくなるのに、というお声を多くいただきます。台東区では交差点に、座れるタイプのガードレールの導入が始まっていて、信号待ちや街歩きの休憩などに利用されています。このガードレールを、文京区でも同じように交差点や、バスの停留所、坂の途中などに導入してはどうでしょうか？

文京区の春日町交差点には区民の癒しスペースとして、すばらしい作品（オブジェ）が設置されていますが、鉄のオブジェは移動して十分な歩行スペースにし、また、座れるガードレールを採用したほうが多くの方に喜ばれるのではないのでしょうか。災害などの緊急時にスムーズな対応ができるスペースの確保、子どもから高齢者まで安全に利用できる歩道の確保に向けて提案し続けます。



鉄のオブジェは、移動するのが望ましい

純子がうったえ続けているもの

文京寮取り壊しについて

2年前に1億7千7百万円の税金で建てられた「路上生活者自立支援センター文京寮」は、3年後に取り壊される予定です。東京都と共同で建てた建物は、現在5年で償却する慣例ですが絶対ではありません。ぜひ公用性の高い施設に転用して利用すべきだと思います。また、建物の有効活用が2億円の節税にもつながります。



天空の緑

シビック内の「天空の緑」は、利便性のいい場所でありながら利用者が少なく、有効に活用されているとはいえません。そこで「天空の緑」の一部を芝生にすれば、乳幼児が裸足で歩けたり、高齢者がくつろぐ場所として利用できるのではないのでしょうか。また手前の空間にテーブルや椅子を置く事で、中学生の居場所対策や地域の皆さんの憩いの場になると提案します。



元町公園を考える

関東大震災からの震災復興公園として、現在唯一残された小公園です。設計の美しさだけでなく、災害時に避難民を守る防火樹林が植樹されています。この公園を文京区の玄関口の一つと考え、明るく人の集まる場所にしたい。他自治体で成功している「花と緑のリサイクルセンター」などは、高齢者やしょうがい者雇用も期待できます。リサイクルフェア等のイベント開催、隣接の旧元町小学校校舎の有効利用も併せて提案していきます。



生ゴミは絞る、紙ゴミは分けるで6億円の支出削減！

3年前から提案し訴え続けてます。区は生ごみを絞る道具「しぼりっこ」のモニターを募ったり、紙ゴミを分ける事の大切さを広めたりなどの周知に改めて力を入れるようになりました。紙ゴミを地域やマンション単位での集団回収をすると、補助金が出ますし、ゴミに対する意識啓発にもつながり、区の処理費用削減にもつながります。公益財団古紙再生促進センターが制作した啓発CDに興味のある方は松下純子までお声がけ下さい。



サポーター収入を増やす！

税込以外の収入の必要性を訴えています。自動販売機の入札制度は、すでに導入され収入を生みだしていますが、他にも収入につながる方法があるはず。墨田区では、区立体育館の壁面にペナント型の企業広告を設置して、広告料を収入としています。広告の形を統一しているせいか、美観を損ないません。同様の壁面利用は、文京区でもできるはず。税収だけに頼らない、独自の収入源の開拓・提案をこれからも引き続き行っていきます。



灰色シャッター通りの対応

商店街などの閉められたままのシャッターに、区内の美術学校の生徒や在住の芸術家、子ども達が絵などを描いて街を明るくしていくアイデアはどうでしょうか。灰色のシャッターが連なるより、絵が描かれている通りのほうが、住んでいる人も通りがかる人も明るい気持ちになり、結果として防犯と地域の活性化につながると思います。他区では、いたずら書きが減ったという報告もあります。



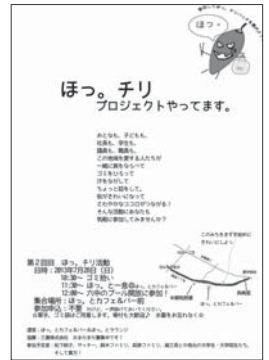
ほっ。チリ活動報告

西片のとあるカフェに集まった『文京区の街を考える人々』が、『まずはゴミを拾うところから始めよう』という、夢と笑顔がいっぱいつまったプロジェクトを開始しました。活動中はあちこちで「ありがとう」と声がかかり、ホツとなつながりが広がりました。

また、この“ほっと。カフェ”では、子育て応援、英会話、食と健康など、さまざまなワークショップが開催されています。共感できる事がたくさんあり、応援していきたいです。



～みんな真剣、みんな楽しく～



各地域での清掃活動や個人の思いが繋がりに、やがて文京区中に広がり、文京区全体が1つになるような事ができたら素晴らしいと思いませんか？



青年部長を中心に汗をかきかき分別

森川町会清掃活動

地元森川町会の清掃活動です。二か月に一度、定期的に行われています。町会青年部を中心に、子どもたちや企業、それに心ある方々が参加しています。みんなで地域をきれいにし、街の安全や地域のつながりにつなげていこうという活動です。新しいメンバーが増えてきて、とても心強いです。



終わって集合写真(*^^*)

フェイスブック始めました！



松下純子の Facebook 始めました！7月（誕生日！）にデビューしました。日々の活動をアップしていきますので、見ていただけたら嬉しいです。今まで月に2回発信している純子メール通信は、これからも変わらず発信します。もし届いていない方がいらっしやいましたら、お手数ですが

junko@matsushitajunko.jp までご連絡ください。

点字メニューのあるお店～No.1～

根津の焼鳥「小松」さんには、点字メニューと店内触図（触ってわかる店内地図）があります。お店の温かい思いと、六点会（点字制作）さんの協力により実現しました。点字メニューを用意しているお店は、区内にあと3件あります。みんなに優しい街に一步一步近づけるよう、純子通信ではユニバーサルデザインのお店やモノを紹介していきます。



視覚しょうがい者の方に好評です

～お知らせ～

9月10日(火)午後2時から、代表質問を行います。
今回はこれまで区政に訴えてきた事にあわせ、新しい提案をいたします。
斬新で前向きな幸せにつながる提案を続けています。議場で応援してください！

防災宿泊体験学習が実現しました

私が提案した防災宿泊体験学習が全小学校の4年生と中学2年生で始まりました。災害が起きた時に自分たちができる事を考え実践したり、帰宅困難や避難生活時に様々な人々と協力していく力を身につける事などが目標です。実施するのはどの学年が良いのか？各学校により異なる体験の内容などを調査し、教育委員会だけでなく防災課などとも連携して、より良い体験になる事を期待します。



コミュニケーションチャームとの出会い

階段でベビーカーを抱えているママ、白い杖をついて歩いている人などに勇気を出して「お手伝いしましょうか？」と声をかけてみま



せんか。すこし勇気がいるかもしれませんが、お手伝いして「ありがとう」と言われたらみんながハッピーに。自分が変われば街中ハッピーになれる。そんな想いがこのチャームに込められています。助け合うことが普通にできる文京区になりますように。

チャームの思いに共感します

認知症サポーターキャラバンメイトの資格取得

認知症サポーター(オレンジリング)は、認知症を知って支えていく運動です。今回 私はそのサポーターを養成できる資格を取得しました。無料(資料代のみ100円)で数人から講習会を開催します。お気軽に松下純子に声をかけてください。

認知症を知ることで家族やご自身の将来の不安が軽減することもあります。歳を重ねても安心して暮らしていける取り組みのひとつです。



オレンジリングとメイトバッジ

全国ラジオ体操連盟公認一級指導員の資格取得

地域や年齢、性別にとらわれず、みんなが一つになれる体操。それがラジオ体操なんだと改めて感じた夏でした。健康・生きがい・生活のリズム・地域の繋がりなど、続けている方の目的はさまざまですが、ラジオ体操ブームもあり、夏休みの朝のラジオ体操や講習会参加者がとても増えています。正しいラジオ体操を知りたい方、もっと上手になりたい方、松下純子でご指導いたします～。



1級のゴールドバッジ

このページでもご紹介した防災宿泊体験学習の朝にラジオ体操を取り入れている学校

NHK 田胡肇先生の講習会はなんと150人!



があり、ラジオ体操一級指導士として指導させていただいております。キラキラとした子供たちの顔が印象的です。

1級を取得したこともあり、夏休みに数多くの会場に行かせていただきました。各会場たいへん喜んでくださり励みになります。会場の育成や指導者の育成に尽力していきたいです。



映画～シビックシネマサロン～

厳選された映画が毎月上映されている映画会は、たくさんの感動の声寄せられていて大人気です。6月は『茗荷村見聞録』7月は『哀愁』でした。区が所有している16ミリビデオとDVDの貸し出しもあるそうです。今はビデオを簡単に低価格で借りられる時代になりましたが、みんなで映画を鑑賞して語り合う時間も素敵です。

次回は9月20日、詳しくは区報でご確認ください。

『生ゴミの水はしぼる。紙ゴミは分ける』で
6億円の支出削減を訴え続けてまいります。

<http://www.matsushitajunko.jp> またはFAX 3814-1518までご意見おきかせください。